

インターバンクの声（2017年9月29日）

午前中は米国の年内利上げ観測や税制改革案の発表を受けたドル買いを維持、そして昼過ぎには衆議院が解散されると株が買われるという経験則からドル買いに拍車がかかったのが昨日の東京市場だった。

久々に113円台を見たいというディーラー達の心理状態に衆議院の解散のタイミングがちょうど上手く合致したようでもあった。その為、やや勢いで買い上げて付けた113円20銭台なので、ニューヨーク市場の終値で112円30銭台まで下落したと言っても、それほど大きな変化には感じない。

もっとも東京で113円20銭台をつけて間もなく112円台後半まで調整が進んでおり、海外市場での下落は40銭程度だ。

ニューヨーク時間には8月の米個人所得・消費支出や9月のシカゴPMI景況指数などの発表もあるが、東京時間は動きが小さいかも知れない。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。